

# 2023年 佐倉市 10大ニュース

令和5年12月

(順不同)

## ■佐倉図書館等新町活性化複合施設 夢咲くら館が開館（3月4日）

佐倉図書館等新町活性化複合施設「夢咲くら館」が開館。約11万冊の本・雑誌を所蔵する図書館をはじめ、子育てに関する相談コーナーや親子で楽しめるスペース、託児室などが設置されています。「夢咲くら館」の開館に伴い、旧佐倉図書館は1月31日に閉館、およそ40年の歴史に幕を閉じました。

## ■「持続可能なまち 佐倉市」の実現に向けて さまざまな施策を推進

### ・オーガニックビレッジ宣言（3月23日）

千葉県知事立ち会いのもと、木更津市と合同で「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。佐倉市では、引き続き「佐倉市有機農業実施計画」に基づき、環境にやさしい持続可能な農業を推進します。

### ・「佐倉市みどりの基本計画」と「佐倉里山自然公園整備基本構想」を策定（6月29日）

〈佐倉市みどりの基本計画〉 市の豊かな自然環境を活かした潤いのある都市空間を形成し、人と自然が共生できる暮らしを実現するため、市における緑地の適正な保全及び緑化の推進、都市公園の利活用の推進に関する基本計画を策定しました。

〈佐倉里山自然公園整備基本構想〉（仮称）佐倉西部自然公園の整備にあたり、「基本整備方針」（平成19年）および「整備基本計画」（平成21年）を整理し、新たに「基本構想」を策定。本市の豊かな自然環境を代表する里山自然公園の整備に関する基本施策を定めました。

### ・「気候変動対策準備室」を開設（10月1日）

佐倉市における気候変動の影響などに関する情報を分析・提供する役割を担う「地域気候変動適応センター」の設置に向けて、関係機関と連携を図りながら、気候変動への緩和および適応施策を検討する「気候変動対策準備室」を設置しました。

## ■「ちば文化資産」に佐倉花火フェスタなどが追加選定（3月24日）

千葉県誕生150周年を契機に、県の魅力を、未来に継承していくため、県民の皆様による投票の結果等を踏まえ、追加選定された「ちば文化資産」。市内では「国立歴史民俗博物館」、「佐倉花火フェスタ（佐倉市民花火大会）」、「ちばの戦国時代・本佐倉城跡」、「参勤の道・ご利益の道「成田街道（佐倉道）」と沿道歴史文化遺産」の4件が選ばれました。

## ■イベントがパワーアップ 佐倉のにぎわい再始動

さまざまなイベントがコロナ前の様子に戻り、佐倉のにぎわいが再始動した1年となりました。

### ・4年ぶりに佐倉マラソン～小出義雄メモリアル～（3月26日）

### ・4年ぶりに佐倉花火フェスタを印旛沼湖畔で開催（8月5日）

### ・5年ぶりに佐倉の秋祭りが3日間開催（10月13日～15日）

## ■都市計画道路 井野・酒々井線が一部開通（3月28日）

都市計画道路 井野・酒々井線のうち、西ユウカリが丘6丁目と井野を結ぶ約400mの整備工事が完了しました。本都市計画道路は、八千代市境までの残り約360m、そしてその先の八千代市都市計画道路新木戸・上高野原線と連結し、将来的に国道16号まで達する道路として計画しています。

## ■佐倉市立美術館と佐倉市民音楽ホールのネーミングライツパートナーが決定（4月1日）

民間事業者などとの協働により、持続可能な施設運営につなげるとともに、施設の魅力や市民サービスの向上を図ることを目的として、ネーミングライツ（施設命名権）を導入しています。佐倉市立美術館、佐倉市民音楽ホールについて、ネーミングライツパートナーおよび愛称が決定しました。

〈佐倉市立美術館〉 →（愛称）佐倉市立美術館！...GC'

・パートナー 株式会社ジィ・シィ企画（令和15年3月31日まで）

・ネーミングライツ料 年130万円

〈佐倉市民音楽ホール〉 →（愛称）佐倉ハーモニーホール

・パートナー 医療法人社団樹徳会 佐倉整形外科眼科病院（令和10年3月31日まで）

・ネーミングライツ料 年100万円

## ■西田 三十五市長2期目スタート（4月23日）

4月23日、佐倉市長選挙・佐倉市議会選挙が行われ、市長に西田 三十五氏が当選し、4月27日から西田市政2期目がスタートしました。

## ■佐倉草ぶえの丘で飼育するヤギの「ポニョ」が双子の赤ちゃん「佐助」と「草助」を出産 & お披露目（5月3日）

令和2年5月に線路沿いの急斜面に迷い込み、保護され、佐倉草ぶえの丘の人気者となっていたヤギの「ポニョ」。ポニョが出産した双子の子ヤギのお披露目と命名式を開催しました。子ヤギの名前は、市内小学校児童のみなさんの投票により「佐助」（さすけ）と「草助」（そうすけ）に決定しました。

## ■子ども医療費の助成対象を高校生相当の年齢まで拡大（11月1日）

令和5年11月診療分から、子ども医療費助成制度の対象年齢を高校生相当まで（18歳を迎えた最初の3月31日まで）拡大しました。

## ■国内外で大人気！かぼすちゃん モニュメントの寄贈（11月2日）

佐倉ふるさと広場で散歩をしている写真などが国内外で人気を博している柴犬の「かぼすちゃん」。聖地である佐倉ふるさと広場に、ファンの方々からソファー型モニュメント、テーブル3基、ベンチ9基を寄贈していただきました。

市は、かぼすちゃんとその飼い主である佐藤さんに感謝状を贈呈しました。